

平成 26 年度第 1 回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成 26 年 6 月 21 日（土）午前 10 時 00 分～12 時 00 分

2 開催場所 中央図書館 2 階視聴覚室

3 出席者

（委員）根津委員長 押樋委員 松本委員 菊地委員 埴委員
奥委員 土久委員 須賀委員 伏見委員 扇谷委員

（事務局）石田部長 永井次長 森田館長 齋藤副館長
長田係長 本多係長 森田副主査

4 議題

（1）報告事項

- ①平成 25 年度利用統計及び実績について
- ②平成 25 年度及び 26 年度図書館自己点検評価について
- ③電子資料導入検討委員会について
- ④蔵書点検について
- ⑤その他

5 議事の概要

- ①平成 25 年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。
- ②平成 25 年度及び 26 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- ③電子資料導入検討委員会について、事務局より報告を行った。
- ④蔵書点検について、事務局より報告を行った。
- ⑤開催行事について、事務局より報告を行った。

6 会議経過

①平成 25 年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）フロアワークとはどういった数値をカウントしているのか。

（回答）フロアでよみきかせを行った回数であり、1 人に対し複数よみきかせをしても 1 件としてカウントしている。

（意見）案内サービスの減少についての対応を検討してもらいたい。

（質問）個人貸出の減少は天候不順だけではなく、高齢化・少子化による読書人口の減少、活字離れ、携帯電話・パソコンの利用による影響がみられるのではないか。図書館のあり方についても検討してゆく必要がある。

- (回答) 利用数減少については、読書離れ等の影響も確かにあることと思われる。市民が何を求めているのか、アンテナを張っていくことが必要である。協議委員の皆様のご意見も参考に図書館を盛り上げていきたい。
- (質問) 学校においても、小学生はよく本を読むが、中学生になると読書から離れていく。中学生のスマートフォンや、ネットの利用の影響の大きさを感じている。中高校生への本の面白さを伝える場の必要性を感じる。年代別の利用の統計はあるのか。
- (回答) 年代別にも統計は取っており、次回報告する。利用の減少については、県内や、全国的にも同様の傾向がみられる。利用の減少については、複合的な要因もあり、何が主たる要因であるか検証する必要がある。しかし、人口一人あたりの貸出は12冊以上と全国平均の3倍弱を維持しており、高いレベルの中での減少であることも理解してもらいたい。
- (意見) 市民の要求は、データベースやレファレンスの利用、講演会への参加など貸出とは限らない。今回の貸出減少は、子どもの人口の減少などがあって、それほど深刻ではないと考える。貸出を戻すことが目的ではなく、市民の求めるサービスに応じていくことが重要である。
- (回答) 本質的な事柄を維持しながら、貸出の増加に努めたい。また、他の部署との連携を積極的に行いながら事業効果を高めることを考えたい。
- (意見) サービスのPRが不足しているように思う。たとえば、ストーリーテリング、フロアワークとは何かということをもっと市民に見える形でPRすることで、図書館の目的が貸出だけではないことが浮かび上がってくる。司書の力量をアピールしてゆくべきで、これだけのサービスを展開しているのに、貸出数だけを問題にすべきではない。
- (意見) 高齢者へのサービスの先陣を切ってもらいたい。介護によみきかせが効果的との説もあるが、図書館がそのサポートを行うことも考えられる。
- (意見) 公民館でも似たような傾向がある。中学生、高校生、大学生の利用がエアポケットのように少なく、講座をやっても集まらない。
- (意見) おはなし会を楽しみにしているが、夏休みには回数を増やしてもらいたい。また、交通公園の児童向けパソコン、青少年館設置のパソコンなど人気があるので、児童室にも子どもたちが自由に利用できるパソコンを、期間限定でも設置してもらいたい。
- (意見) ネット社会にあって、情報の受け方も多様化しているが、正しい情報をきちんと提供できる図書館の役割は重要である。また、中高生は忙しいので多方向のサービスを展開してもらいたい。

②平成25年度及び26年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) 上位計画と図書館の重点目標との関係、また、重点目標と各係の設定

する指標との関係が分かりにくいように思う。

(回答) 係別の評価のため、全体の評価が分かりにくい部分があり、より分かりやすい指標になるよう検討したい。

③電子資料導入検討委員会について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) 震災情報市民への提供はいつごろになるのか。

(回答) 来年度からの提供も視野に入れている。

④蔵書点検について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 単に休館しているのではなく、大変な作業をしているのだから、休館日の掲示だけではなく、休館中の作業内容の紹介もしたほうがよい。以前、館報で紹介していたと思うが、市民見学会なども検討したかどうか。

(回答) 中央図書館で実施する際には、エントランスホールに作業風景等のパネルを展示した。PRについても検討したい。

⑤開催行事について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 「子どもの本の講座」は、「子ども」と付いていると大人が参加しにくいかもしれない。高齢者へのPRもしたほうがよい。

(意見) 館内で、司書とそれ以外の職員の区別がつきにくいように思う。この図書館に行けば、この司書がいるといったことが利用者に示されるとよい。「図書館クラブ」のなかで、参加者に司書のプロフィールなどを紹介してはどうか。

(意見) 科学離れが言われる中、「科学で遊ぼう」などは、中学生にもPRしたほうがよい。

(意見) 図書館の位置づけが変化している中で、司書の仕事の位置づけも変化しているのではないか。社会変化のスピードが速まっている中、読者のニーズに合わせた本を選び、提供する必要がある。単に資格だけではなく、本や情報を利用者と結びつけることのできる司書として、研修や自己研鑽を司書の方にはお願いしたい。

(意見) 一目で司書とわかる工夫があるとよい。「司書が薦める本」はよい企画なのでもっとPRしてもらいたい。

(回答) 「司書が薦める本」は開始後1年が経過したので、大々的な展示を、ラウンジにおいて実施の予定である。